

I 学校教育目標と特色ある経営方針

1 学校教育目標

「郷土を愛し、たくましく生きぬく子ども」



【めざす子ども像】

- ◇相手の気持ちが思いやれる子ども
- ◇対話し、学び、わかちあう子ども
- ◇みんなと支え合い、ともに働く子ども

◇相手の気持ちが思いやれる子ども【人間性の育成 心の成長】

○自分の気持ちを素直に伝えられる子

- ・日常の出来事や日々の生活に心を動かし、そのことを伝える子（作文、スピーチ）
- ・友だちの喜怒哀楽に共感でき、思いを素直にことばにできる子（スピーチ、交流）
- ・見守り隊や交通指導、あいさつ運動に参加する地域の方に明るいあいさつをする。（登下校）

○相手の立場になって考えることができる子

- ・一人ひとりの違い、自他の違いを大切にする子（授業・集会等）
- ・誰もが同じ人間として大切にされ、尊重しようとする子（道徳・学活）
- ・人の悲しみや苦しみ、喜びや楽しみを想像しようとする子（国語・読書）
- ・自分がされていやなことを、言ったり、したりしない子（全教育活動）

◇対話し、学び、わかちあう子ども【主体的な学習者の育成 学習習慣の形成】

○学ぶ喜びを大切にする子

- ・いつも本を読む子（朝読書・図書館活用）
- ・人の話に最後まで耳を傾ける子（授業・集会）
- ・知ったこと、わかったことを生活に生かそうとする子（作文・スピーチ）
- ・夢や希望を持ち、チャレンジする子（行事・集会）
- ・校区（飯野・飯丘地区）を中心に、自然や文化・風土などを調査したり、報告したりする地域学習をすすめる。（生活科・理科・社会科・国語科・総合・図画工作等で学年を通し計画的に）

○自分の考えの持てる子

- ・まちがえをおそれない子（授業・集会）
- ・自分の考えを大切にしようとする子（授業・集会）
- ・よりよく工夫して考える子（授業・集会）

○対話し、学び、わかちあう子【主体的・対話的で深い学び、言語活動の充実】（校内研）

- ・ちがった意見や考え、感じ方を大切にする子（授業・集会）
- ・相手の意見や考えから自分の考えを深める子（授業・集会）

◇みんなと支え合い、ともに働く子ども【社会を生き抜く力 心身の健康習慣】

○進んで心身をきたえる子

- ・規則正しい生活習慣をおこなう子（家庭との連携）
- ・つらい事、苦しい事を受け止め前向きになれる子（教育相談・作文）
- ・ねばり強く、すぐにあきらめない子（黙動自問清掃、当番・係活動）

- ・体を動かして遊び、運動が好きな子（体育・休み時間 ＊絆の時間の活用）

○力を合わせ働くことができる子

- ・自分で考えて仕事をもとめ働く子（黙動自問清掃、当番・係活動）

＊下線部分は南アルプス市「ふるさと教育」を受けての部分

2 基本方針

飯野プリンシプル（指導原則）

1 言語環境を整える。

- ・全体が学ぶ場では、相手を尊重した言葉遣いを行う。
- ・〇〇さん、〇〇君、「です、ます」口調。教師も同じ歩調で。
- ・乱暴な発言はその場でいい直しの励行

2 教室環境を整える。

- ・机、椅子、ロッカーなどの整頓。
- ・整わない場合は、3分で整頓。
- ・黙動自問清掃の励行。
- ・公共物を丁寧に使用する習慣。

3 時間を守る。

- ・開始時刻を遅らせない。終了時刻を守る。
- ・時間内に終わる内容へ、学習内容の精選。
- ・1時間の目当ての明確化、達成のふりかえり（山梨スタンダード）。

指導基準

- 1 危ない
- 2 迷惑
- 3 失礼
- 4 ずるい
- 5 下品

＊学年学級で具体例を共有

（1）すべての子どもと職員が声をかけ合えるあたたかな学校づくりに努める。

- 職員相互の分掌等を尊重しつつ、支え合い協働する職員（行事・集会等）。
- 常に授業を公開し、互いの実践に学び合う職員（校内研究）。
- 子どもの学習の姿を共有し、学年主任を通し、チームで指導改善を行う職員。

（2）人や社会、自然との関わりを大切にし、体験や実感を学びに生かす。

- 子どもの生活に目を向け、具体的な経験を学びに生かす。（作文・スピーチ、授業）
- 具体的な経験の理由付けから、意見を導く学習。（三角ロジック、根拠・理由・主張）

（3）一人ひとりの進歩と成長を認め励まし、主体的な学習者の育成に努める。

- 子どもの学習成果を大切にし、他との比較でなくその子の成長や進歩を伝え、励ます。（日常的な指導・あゆみ・懇談会等）
- 友だちの良さ、クラスの良さ、学校のよさが実感できる学習活動の充実。（学級づくりの根幹に、相手の良さを評価する取り組み、場の設定。授業、学級通信等で発信）

(4) 子どもと教師、保護者・地域、みんなで地域の学校づくりに努める。

○教師の支援のもと、子どもたちが学習活動を創り上げる。

(子どもの司会進行、運営による自主的な集会等の取り組み)

○教育活動を地域に開き、積極的にサポートを依頼し、保護者・地域が学校教育に参画する意識の啓発。(学習サポーターの導入、学校だより、学年・学級通信、HPでの発信)

(5) 課題をチャンスと受け止め、明るく前向きに改善する学校運営に努める。

○意見や相談、苦情などをていねいに受け止め、共に改善を図る協力関係、協働体制の構築

(学校評価、体罰調査、連絡帳、行事後のアンケート、担任→学年主任→生徒指導→教頭→校長の順に情報共有。組織的な対応の徹底)

○全校体制で、当該児童、保護者等と関係のもてる人材を育成し、有効な信頼関係の構築。

(苦言等を丁寧に受け止め、改善に生かす姿勢の徹底)

3 教師の信条

すすんで授業や実践を公開し、同僚と学び合い、温かな学級集団をつくることで、教室を学びの場として、子どもの成長と進歩を第一の喜びと感じる教師

4 指導重点

(1) 世界に通じ社会を生きぬく力

○学ぶことを通して、自己や他者の良さ、人として生きるに良さに気づき、進んで世界と関わる意欲や態度の育成。(小中連携教育・ICT教育の推進)

○自分の考えや意見を明るく、表情豊かに伝え、理解しあえる喜びを体験し、多様な文化と共生する態度の育成。(外国語教育の充実)

○教科等を有機的に連携させ、対話し、学び、協働して解決する教育課程の工夫。

(週、学期ごとの単元の目標・内容の学年共有、カリキュラムマネジメントの充実)。

(2) 確かな学力と自立する力

○自分の考えや疑問を何でも伝えられる学級づくり。(学習集団づくり、授業の基盤)

○他の意見や感想に耳を傾け、多様な考えを大切にした対話的な深い学習。(校内研)

○一人、ペア、グループ、全体学習を効果的に組み入れ、言語活動の充実。(授業改善)

○子どもの日常生活や好奇心に関わり、興味関心をかき立て、学校から家庭に発展する学習の工夫に努める(授業改善と家庭学習の推進)。

○授業を広く公開し、職員の学び合いを活発にて、互いに指導力を高め合う。(校内研)

(3) 豊かな心と自己実現を図る力

○すべての児童が居場所のある学級づくり。(学年集会で共通理解)

○基本的人権と個人の尊厳を尊重し、いじめや不登校に取り組む。(道徳・特活)

○相手の立場に立って考える体験を重ね、自分がされて嫌なことを、言ったりしたりしない子どもを

育てる。(学年集会、学級指導)

- 上学年の子どもの活動から、下学年の子どもが自ずと学べる行事や集会。(縦割り班活動)
- 読書の苦手な子ども、本を読む時間を確保し、読書習慣を育む。(朝読書、ビブリオバトル等)
- 豊かな読書・文化芸術体験を通し、強く生きる心を育む。(芸術鑑賞、図書・音楽集会)
- 相手をおもいやる所作や言動を身につけ、挨拶習慣を育む。(小笠原流礼法、あいさつ運動)

(4) 健康で健やかな生活を営む力

- 運動の楽しさ、自己の進歩を味わわせ、運動習慣を育む。(体育、スーパー元気タイム)
- 運動・食事・睡眠と健康について理解を深め、健康な生活習慣を育む。(保健集会、保健指導)

(5) 一人ひとりのニーズに応じた特別支援教育の推進

- 実態を把握し、個のニーズに応じた指導。(個別指導の充実、指導主事の招聘)
- コーディネーターを中心に、情報共有をし、関係機関との連携を図り、校内支援体制の効果的な運用を図る。(ケース会議、市教委、関係機関との情報共有)
- 保護者相談を丁寧に行い、連携した指導の実施。(保護者に寄り添った信頼関係の構築)
- 一人ひとりの人権と個人差を尊重した学校づくり。(全職員、交流学級との連携)

(6) 安全に安心して学べる教育環境づくりの推進

- 保護者、地域の力を活用し、共に支えあう地域の学校づくり。(日常的な学校開放)
- PTA活動や地域の様々な行事に職員も参画し、協力関係を築く。
(飯野小学校 PTA 教育振興会 子どもを守る会 民生児童委員 育成会等)
- 学校、家庭、地域社会が連携し、安全で安心できる環境づくり。(見守り隊、学習サポーター)

